

クンドルニュース

Kyushu United Nations Depository Library

九州国連寄託図書館



世界人口デー

World Population Day 7月11日



世界の人口について
 考えよう！
 未来はどうなる？

7月11日は「世界人口デー」。1987年7月11日に、国連がユーゴスラビア（当時）で生まれた男児を50億人目と認定したことにちなみ、世界の人口問題に関心を深めてもらうために1989年に制定されました。

世界人口は1999年10月に60億人、2011年10月に70億人に達し、2022年11月に80億人！！

人口に関する代表的資料に、国連人口基金（UNFPA）※1が毎年発行する『State of world population（世界人口白書）』があり、その最新版※2では、世界人口は2022年11月15日に80億人に到達し平均余命も伸びている一方、低迷する経済や、紛争、食糧・エネルギー不足などにより、高い割合の人々が将来に不安を感じていることを指摘しています。人口動態の問題は、『誰ひとり取り残さない』ことを目指すSDGsの達成にも密接に関わっています。すべての人々の権利、尊厳と平等が真の意味で尊重される未来と世界人口の関わりについて考えてみる機会です。

世界人口が80億人に達する中、すべての人のための持続可能な開発を進めるため国連が連帯を呼びかけ（2022年11月15日付 国連経済社会局プレスリリース・日本語訳）

https://www.unic.or.jp/news_press/info/45545/

※1 国連人口基金

(UNFPA: United Nations Population Fund)

国連人口基金は、人類が直面している最重要課題のひとつである地球的規模の人口問題を、単なる数の問題ではなく人間の尊厳の問題として取り組んでいる国連機関です。国連総会のイニシアチブのもとに1969年に設立され、ニューヨーク本部と132の事務所のグローバルネットワークで人口関連の支援を行っています。

国連人口基金
 ロゴ



オレンジ色は「若さ」のシンボル、若者に対する活動に力を入れています。大小のマルはわたしたちの「命」、世代から世代へと受け継がれていく命の営みの大切さを象徴しています。

※2 最新版 『世界人口白書 2023』

⇒ 『State of World Population 2023 — 8 Billion Lives, Infinite Possibilities』

<https://www.unfpa.org/sites/default/files/swop23/SWOP2023-ENGLISH-230329-web.pdf>

もっと知りたい！

世界の人口のこと

(福岡市総合図書館所蔵)



書名/著者名/出版社/出版年	資料番号	場所
地図とデータで見る人口の世界ハンドブック ジル・ピゾン／著 吉田 春美／訳 原書房 2021	1014288169	2階D12
SDGsの人口学（人口学ライブラリー）23 佐藤 龍三郎・松浦 司／編著 原書房 2023	1014482499	2階D12
ナショナルジオグラフィック 日本版 2023年4月号 「80億人 爆発する人口」 日経ナショナルジオグラフィック社	1014418212	2階MⅡ4
世界移民統計アトラス：国際移住機関 ディーナ・イオネスコ、ダリア・マフナシェヴァ／著 原書房 2020	1014141780	2階D12

◆◇今月の注目資料◆◇

国連×人口

表面で紹介した「State of world population (世界人口白書)」の他にも次のような資料があります！



『Demographic yearbook』(国際連合世界人口年鑑) United Nations 国連書架A2

世界の人口を調べる際の代表的な統計資料。

国連が各国統計局の人口に関する公式データを収集、まとめたもので、1949年から毎年刊行されています。世界、主要地域の人口増加率や年齢別構成比などから、各国の人口はもちろん、出生や婚姻、離婚など人口に関わる様々なデータを掲載しています。

当館では1948年の初年版から所蔵、近年のものはオンライン版で全文が閲覧できます。

オンライン版(英語) <https://unstats.un.org/unsd/demographic-social/products/dyb/dybsets/2021.pdf>

『国際連合世界人口年鑑 VOL.72 (2021)』

国際連合経済社会局／編集 原書房編集部／訳 原書房 2023年 2階C1

上記資料最新2023年の日本語版。英文も併記されています。

世界中の収集が可能な約230の国・地域についての人口統計を示しており、この版では2021年までのデータが紹介されています。

『国際連合世界人口予測 2022年改訂版 第1・第2分冊 : 1950→2100』

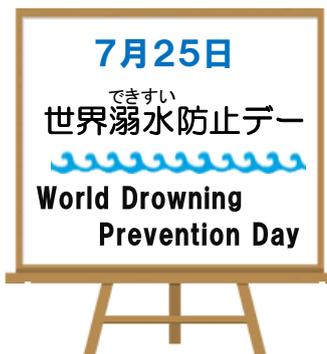
国際連合経済社会局人口部／編 原書房編集部／訳 原書房 2022年 2階C16

世界人口の見通しを示す重要資料。最新の2022年版では、第1分冊は1950-2100年の主要地域・国ごとの人口学的データ等を、第2分冊は2022年時点で20万人以上の住民のいる国ごとの男女・年齢別人口を収録。

本書の情報は、『World Population Prospects 2022』 <https://population.un.org/wpp/> からでもアクセスできます(英語)。



ご存知ですか？ 国際デー



国連は、2021年4月の国連総会において、7月25日を「世界溺水防止デー」とすることを採択(A/RES/75/273)しました。厚生労働省「人口動態調査」によると、平成28年から令和2年までの5年間で、14歳以下の子どもの溺水による死亡事故は不慮の窒息、交通事故に並び、不慮の事故での死因の上位を占めています。世界溺水防止デーは、溺水事故により失われた命と溺水事故の悲惨さに想いを寄せ、予防可能であるはずのこれら悲劇的な事故に対し、世界中でその認識を高めることを目的としています。

「世界溺水防止デー」公式ホームページ：
<https://www.un.org/en/observances/drowning-prevention-day>

編集後記



昨年の世界人口デーにあたり、グテーレス国連事務総長は「世界人口が80億人に達することは数字上では画期的な出来事」としたうえで「私たちの焦点は常に『人』でなければなりません(our focus must always be on people.)」とメッセージしています。「誰ひとり取り残さない」というSDGsの原則を思いながら人口について考えていきたいと思えます。

詳細をお知りになりたい方は、ぜひ2階国際・国連カウンターにお立ち寄りください！



九州国連寄託図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号 福岡市総合図書館 2階
TEL 092 (852) 0628

開館時間：10:00～20:00
10:00～19:00(日・祭日)
*相談業務は19:00(日・祭日18:00)まで
休 み：毎週月曜・毎月月末
(休日のときはその翌平日)
年末年始・図書特別整理期間